

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月29日

【評価実施概要】

事業所番号	3071400265		
法人名	社会福祉法人 中庸会		
事業所名	グループホーム 天美苑()		
所在地	和歌山県海南市七山964-1 TEL 073-486-0114		
評価機関名	特定非営利法人カリア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル2F		
訪問調査日	平成21年3月25日	評価確定日	

【情報提供票より】(2009年 3月 12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	25 人	常勤 11人, 非常勤 3人, 常勤換算	10.6 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	150 円	昼食 350 円
	夕食	250 円	おやつ 50 円
	または1日当たり	800 円	

(4) 利用者の概要(2 月 28日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護 1	1名	要介護 2	8名
要介護 3	4名	要介護 4	4名
要介護 5	1名	要支援 2	0名
年齢	平均 85.2 歳	最低 70 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	竹中整形外科・内科、 岩橋歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな自然の中、木のぬくもりが感じられる建物にその方らしい家具や写真などに囲まれ、ゆったりとした時間の中でご利用者の方々は穏やかにすごされていました。食事の準備や洗濯物、畑での作業などおひとりお一人の能力を見極め、職員が寄り添い、理念である「尊厳を持って、その人らしい生活を送れるケアの実現」に努めていました。特養やデイサービスが併設され、連携が取れやすくご利用者やご家族の安心につながっています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	平成16年に外部評価を受けその後は実施されていませんでした。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	出来ているつもりが出来ていないという事実に直面し、自己研鑽のためにも定期的実施の必要性を感じたそうです。理念の実現に向けて外部評価の定期的受審を期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	昨年グループホーム()を開設し、運営推進会議を共に実施していく計画です。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ご家族が来訪されたときは、職員が話しやすい雰囲気を作り声かけするなど日常的な取組みはなされていましたが、記録がなくその取組みがわかりにくい状況でした。ご利用者やご家族の思いの引き出しに努め、その取組みを記録に残して職員皆で情報の共有ができるような仕組み作りを期待します。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	畑への行き帰りなどに近隣の方と挨拶を交したり、苑の行事である敬老会や夏祭りなどに参加していただいたりと交流を図っています。今後は地域の交流の場へ出かける機会を増やす計画で、積極的な取組みが期待できます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成 年 月 日

【評価実施概要】

事業所番号	
法人名	
事業所名	
所在地	(電話)

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	評価確定日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 年 月 日
職員数	人 常勤 人, 非常勤 人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	造り
	階建ての ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

宿泊費(1泊)	円程度			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
その他日常生活において必要な費用	1日につき、およそ 円 ~ 円程度			

(4) 登録者の概要

登録人数	名	男性 名	女性 名
要介護1		要介護2	
要介護3		要介護4	
要介護5			
要支援1		要支援2	名
年齢	平均 歳	最低 歳	最高 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

--

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「尊厳」をもってその人らしい生活を送れるケアを実現するために、個を尊重し和を大切にすることを心がけていくという事業所独自の理念をつくっていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入職時やカンファレンス時など管理者は職員へ理念の説明を行ったり、見やすいところに掲示するなど、共有をはかっていました。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	苑の行事の敬老会や夏祭り等への参加を地域の方にも呼びかけ参加していただいていた。		事業所の行事に参加していただくだけでなく、地域の行事にも参加していきたいという思いは感じましたのでその計画、実行を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価実施から4年が経過しているとのことでしたが、今回自己評価を行い、外部評価の定期的な受審の必要性を実感したとのこと。		1年に1回自己評価、外部評価を行い、評価を活かして、事業所の改善につなげていくことを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	呼びかけは行うも、市やご家族の参加等スケジュールの調整が困難な様子でした。		昨年新しく開設されたグループホーム()と一緒に4月から行いたいと計画中でした。実行され、会議録等記録に残していられることを期待します。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	和歌山県グループホーム連絡会の海草・海南支部の分科会を通して認知症の理解を深めるためのキャラバン活動を行い、事業所近隣にも活動を広げていく計画です。		
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	行事予定を毎月ご家族に送付し、来訪時にはホームでの暮らしを伝えます。金銭管理のため、個々にノートを作成し、来訪時に報告しています。また、必要に応じて権利擁護を利用するなど個々に応じた対応をとっています。		来訪の少ないご家族に対してもホームでの暮らしがわかりやすいような報告、お知らせ等を考えてはいかがですか。記録についても確認のサインをいただいたり、電話での報告内容等も記録に残してはいかがでしょうか。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	苦情担当者を決め家族来訪者の見えやすいところに掲示してありました。意見箱が設置されていました。		ご家族やご利用者からのご意見を引き出し、それをサービスに反映していく仕組み作りのため、ご家族同士が集まり意見交換のできる場の提供など考えられてはどうでしょうか。
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の移動の場合は、急な変更をせず、なれる期間をおくなど配慮されていました。また、移動した職員が時々見に来られていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	和歌山県グループホーム連絡会及び海草・海南支部分科会で行われる研修会に参加し、他の職員も共有できるよう研修報告がされていました。		各職員の立場や経験、習熟度等に応じた研修が行えるよう職員の希望もふまえた研修計画を立て、実行、結果検討、記録等されてはいかがでしょうか。
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	和歌山県グループホーム連絡会及び海草・海南支部分科会に参加し相互研修や事例検討等を通して他の事業所のよいところ等学ぶ機会を作り、サービスの向上に努めています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	本人、家族、ホームと一緒に考え、見学の他必要に応じて併設のデイサービスの利用をしながら馴染みの関係を作っていくなど工夫をしておられました。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	「共に生きる」を生活支援の基本にし、ご利用者個々のできることの把握を行い、洗濯や掃除、食事作りを共に行います。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前に生活暦等の把握に努め、ご利用者の思いや不安、楽しみなどを知るためのため気づきシートを作成し、それを職員皆で記入し情報の共有に努め、カンファレンスでケアの方向性を決めています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントを基にケアカンファレンスを行い介護計画書を作成します。それを家族に説明し、同意を得、署名押印いただきます。</p>		<p>計画作成時にご家族も参加いただきご家族の思いを把握し、意見や希望を把握、記録し、反映されてはいかがでしょうか。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1ヶ月に1回のモニタリングを行い、必要に応じてカンファレンスを行って計画を見直します。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご本人やご家族の状況に応じて通院の対応は柔軟に行い、職員が受診に同行することもあります。買い物についてもご家族の状況に応じて、職員が支援します。</p>		<p>ご利用者への柔軟な対応とともに地域密着型サービスとして医療連携体制や近隣の高齢者の状況に応じた多機能サービス(デイサービス・ショートステイ)に取り組まれることを期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>内科・整形外科・歯科については協力医療機関があり、状況に応じた受診ができる体制です。協力医以外にもご家族、ご本人の希望に応じ受診出来るよう支援しています。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>認知症の進行やADLの低下によりグループホームでの生活が困難になった場合は、併設施設への転居なども含めご本人、ご家族と話し合いが行われます。夜間についても医師との連携、対応が確保されています。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>基本理念に基づき、ご利用者の尊厳を大切にする支援に努めています。個別ファイル等を施錠できるところに保管し、個人情報の適切な管理を行っています。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日の流れは決まっていますが、献立や入浴などご利用者の希望を聞き取り、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら対応しています。</p>		<p>健康を損なう行為や排他的な行為、廃用症候群につながるような行為が見られるときは、家族も巻き込みどうしてそのような行為に及んでいるのかご利用者の心の理解に努めご家族と一緒に支援されてはいかがですか。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の決定、材料の買い物、食事の準備、後片付けなどご利用者が出来ることを見極め、職員と共に行っています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご利用者に今日の入浴どうしますか、と全員の希望を聞いてから入浴の予定を決めています。また、職員はご利用者の入浴の状態を把握し、会話の中で入浴の促しなどを行います。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居前に生活歴等の把握に努め、一人ひとりの出来ることの見極めをしながら、役割分担や習字や手芸などの支援をしています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候やその方の状態などに気を配りながら近所を散歩したり、また、行事として花見や遠足、ドライブなどを計画し、外出の支援をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず、食事やティータイム、日に3回の換気のための窓開けなど日中のかかわりの中で見守りがなされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得ながら年に2回避難訓練を実施しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日記録し、職員が情報の共有をしています。問題のある場合は、対策を協議したり、定期的に管理栄養士のアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木のぬくもりが感じられる建物で、食事を作る音やにおいが感じられる広さになっています。また、めだかを飼ったり、玄関周りに花をいけるなど家庭的な雰囲気作りを心がけ、温かみを感じられます。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時ご家族とご利用者と共に相談し、使い慣れた家具や思い出の品等持ち込んでいただき、居心地良く安心して生活できるよう配慮しています。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。